

みずほCustomer Desk Report 2023/04/05 号 (As of 2023/04/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	132.62 AUD/USD
TKY 9:00AM	132.32	1.0907	144.22	1.2420	0.6787
SYD-NY High	133.17	1.0973	145.41	1.2525	0.6793
SYD-NY Low	131.53	1.0884	143.99	1.2398	0.6720
NY 5:00 PM	131.71	1.0958	144.35	1.2500	0.6753

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,402.38	▲ 198.77	日本2年債	▲0.0300%	0.0100%
NASDAQ	12,126.33	▲ 63.13	日本10年債	0.4000%	0.0400%
S&P	4,100.60	▲ 23.91	米国2年債	3.8201%	▲0.1485%
日経平均	28,287.42	99.27	米国5年債	3.3864%	▲0.1190%
TOPIX	2,022.76	5.08	米国10年債	3.3377%	▲0.0764%
シカゴ日経先物	28,155.00	▲ 115.00	独10年債	2.2620%	0.0210%
ロンドンFT	7,634.52	▲ 38.48	英10年債	3.4315%	0.0050%
DAX	15,603.47	22.55	豪10年債	3.2690%	▲0.0350%
ハンセン指数	20,274.59	▲ 134.59	USDJPY 1M Vol	12.74%	▲0.14%
上海総合	3,312.56	16.16	USDJPY 3M Vol	11.68%	▲0.14%
NY金	2,038.20	37.80	USDJPY 6M Vol	11.13%	▲0.08%
WTI	80.71	0.29	USDJPY 1M 25RR	▲1.95%	Yen Call Over
CRB指数	271.15	▲ 0.19	EURJPY 3M Vol	11.43%	▲0.30%
ドルインデックス	101.59	▲ 0.51	EURJPY 6M Vol	11.12%	▲0.22%

東京	東京時間のドル円は132.32レベルでオープン。前日(3日)発表された米3月ISM製造業景況指数の冴えない結果を受けた米金利低下が一服し、ドルの買戻しを受けて132円後半まで浮上。午後はRBAの金利据え置きが発表され、対AUDのドル買いが進んだことで132.98までつけるもその後値を戻し、132.71レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.71レベルでオープン。米ISMが弱含んだことで午後に控えるJOLTS求人件数が注目される中、方向感なく推移し結局133.07レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0900レベルでオープン。ユーロ圏2月PPIが発表され、前年同月比で予想を下回るも市場への影響は限定的となり、結局1.0898レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2410レベルでオープン。昨年末からのレンジ高値でもみ合った後、一時1.2521まで上抜けるも最終的に1.2482レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台半ばでスタート。アジア時間では米金利低下が一服を受けてのドル買い戻しや、豪中銀の政策金利据え置き発表後にドル買いが強まった事でサポートされ133円台手前まで上昇。欧州時間では一時小幅反落するも再び買い戻され133.07レベルでNYオープン。午前中に発表された米2月JOLT求人件数が予想を下回り、利上げ期待が後退した事と米景気減速の懸念から、リスク回避のドル売りが優勢となり131.53まで急落。午後は新規材料に欠け、131.70付近での上値の重い推移が続き、結局131.71レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台丁度付近でスタート。アジア時間ではじり安での推移が続いたが、欧州時間に入ると欧州株式市場の堅調を背景にユーロ買いが進み1.0936まで上昇。続いてユーロ圏2月PPIが発表され、予想通り前月比-0.5%の結果となり、ユーロドルへの影響は限定的。その後1.0898レベルでNYオープン。朝方は先述の米経済指標の内容を受け、ドル売りが優勢となりユーロドルは1.0973まで急伸するも、買い一巡後は1.0940台まで反落。午後は1.0950台付近での揉み合いとなり、1.0958レベルでクローズ。

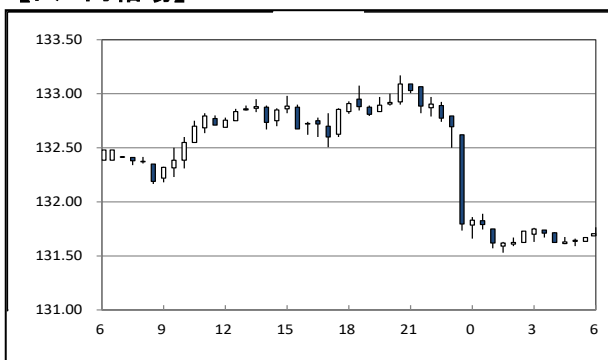
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月4日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	4-Apr	3.60%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	2月	-0.5%/13.2%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	2月	-0.7%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	2月	-0.3%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	2月	-1.0%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	2月	-0.1%
	23:00	米 JOLT求人	2月	9931K

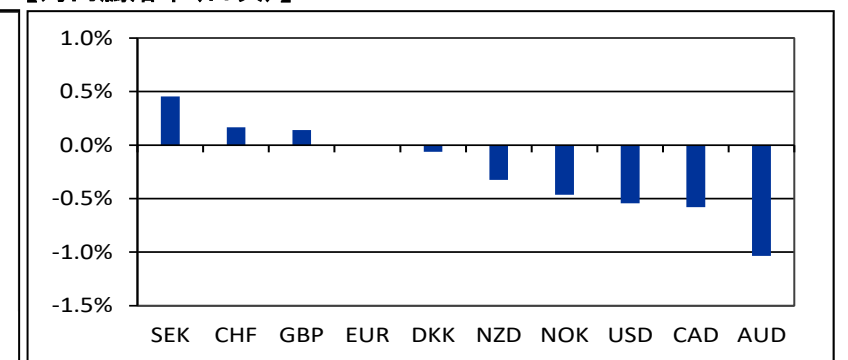
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月5日	15:00	独 製造業受注(前月比)	2月	0.3%
	16:55	独 サービス業PMI・確報	3月	53.9
	16:55	独 コンポジットPMI・確報	3月	52.6
	17:00	欧 コンポジットPMI・確報	3月	54.1
	17:00	欧 サービス業PMI・確報	3月	55.6
	21:15	米 ADP雇用統計	3月	210k
	21:30	米 貿易収支	2月	-\$68.8b
	22:45	米 サービス業PMI・確報	3月	53.8
	22:45	米 コンポジットPMI・確報	3月	53.3
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	3月	54.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.50-132.50	1.0800-1.1100	143.20-145.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落。東京時間は132.32レベルでオープン。前日の流れが一服してじり高となり、欧州時間には133.17まで上昇。米国時間、注目のJOLT求人件数が予想を下回り2021年5月以来の低水準となると、利上げ期待の後退と米景気減速の懸念から、131.53まで急落。その後も上値重く推移し、131.71レベルでクローズした。本日のドル円も、上値の重い展開を予想。雇用の弱さは賃金インフレを弱めることにも繋がる。今後は米利下げの開始時期を織り込みに行く相場になるか。本日発表のADP全米雇用報告や米ISM非製造業景気指数、金曜の米雇用統計を控えているため、神経質な相場が続くだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・松木